

群馬県におけるイノシシの生態と分布について

群馬県立自然史博物館
群馬県自然環境課

1. 広がるイノシシの生息域



1985年の分布 (群馬県動物誌, 1985より)



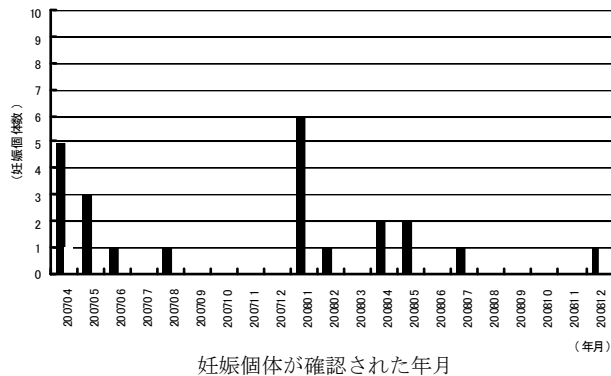
1993年の分布



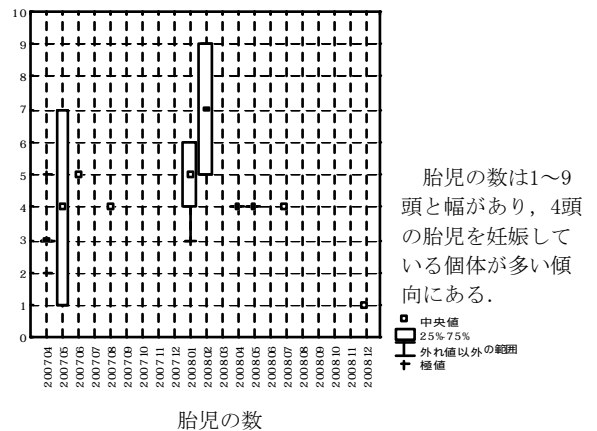
現在の分布
(2007年度狩猟, 2008年度有害捕獲データより作成)

1985年頃には上野村を中心に県の西部と一部北部で生息が確認されていましたが、現在では中山間地域を中心にその生息はほぼ県内全域におよんでいます。

2. イノシシの繁殖状況



妊娠個体が確認された年月



胎児の数は1~9頭と幅があり、4頭の胎児を妊娠している個体が多い傾向にある。

群馬県では、県内におけるイノシシの繁殖状況を調べるために、多くの関係諸機関や協力者の方々にご協力いただき、サンプルの収集・分析をしてきました。収集しているサンプルは、年齢を把握するための頭骨、妊娠状況と繁殖状況を知るための子宮・卵巣・胎児です。

その結果、県内では2歳前後から妊娠個体がみられ4頭の胎児をもつ個体が多く、5月~9月の間に出産している可能性の高い傾向にあります(2007年4月1日~2008年12月末の試料による)。



受入番号: VM08-262

この個体には6体の胎児が確認されました。胎児は計測の後、卵巣とともにホルマリンで固定され自然史博物館に收藏されます。